

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）															
計画の期間	令和０４年度　～　令和０５年度（2年間）											重点配分対象の該当	○			
交付対象	岩倉市															
計画の目標	・雨水調整池の設置で浸水被害常襲区域の都市浸水の解消を図り、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。															
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,017	A	1,002	B	0	C	15	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1.47	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R5末
1	岩倉市における都市浸水対策整備進捗率を21.6%（R4年度当初）から33.7%（R5年度末）へ拡大。 岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域のうち、整備が完了している区域の割合。 都市浸水対策整備進捗率（％）＝（整備が完了した区域（ha）／（岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域（ha）） 都市浸水対策として実施すべき区域の対象降雨規模：10年確率			
		22%	22%	34%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	管渠（ 雨水）	新設	大矢公園調整池（浸水対策）	貯留量 2,250m3	岩倉市	■	■				1,002		-
											小計						1,002		
											合計						1,002		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岩倉市	直接	民間	-	-	雨水流出抑制施設	浄化槽転用 2基 / 年 雨水 貯留槽 16基 / 年	岩倉市	■	■				1	-	
		雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水貯留施設等を設置する個人に対し助成する。																	
	C07-002	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	-	-	浸水ハザードマップ見直し業務	浸水ハザードマップの見直し	岩倉市	■					14	-	
		想定最大規模の降雨に対応したハザードマップの見直しを行うことにより、集中豪雨等ではん濫等の浸水情報及び避難に関する情報を市民分かりやすく提供し、人的被害を防ぐ。																	
											小計						15		
											合計						15		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岩倉市上下水道課で事後評価を実施

事後評価の実施時期

R 7 年 9 月

公表の方法

岩倉市のHPで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

大矢公園調整池を整備した結果、新たに雨水貯留量が2,250m³増加し都市浸水対策整備進捗率が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

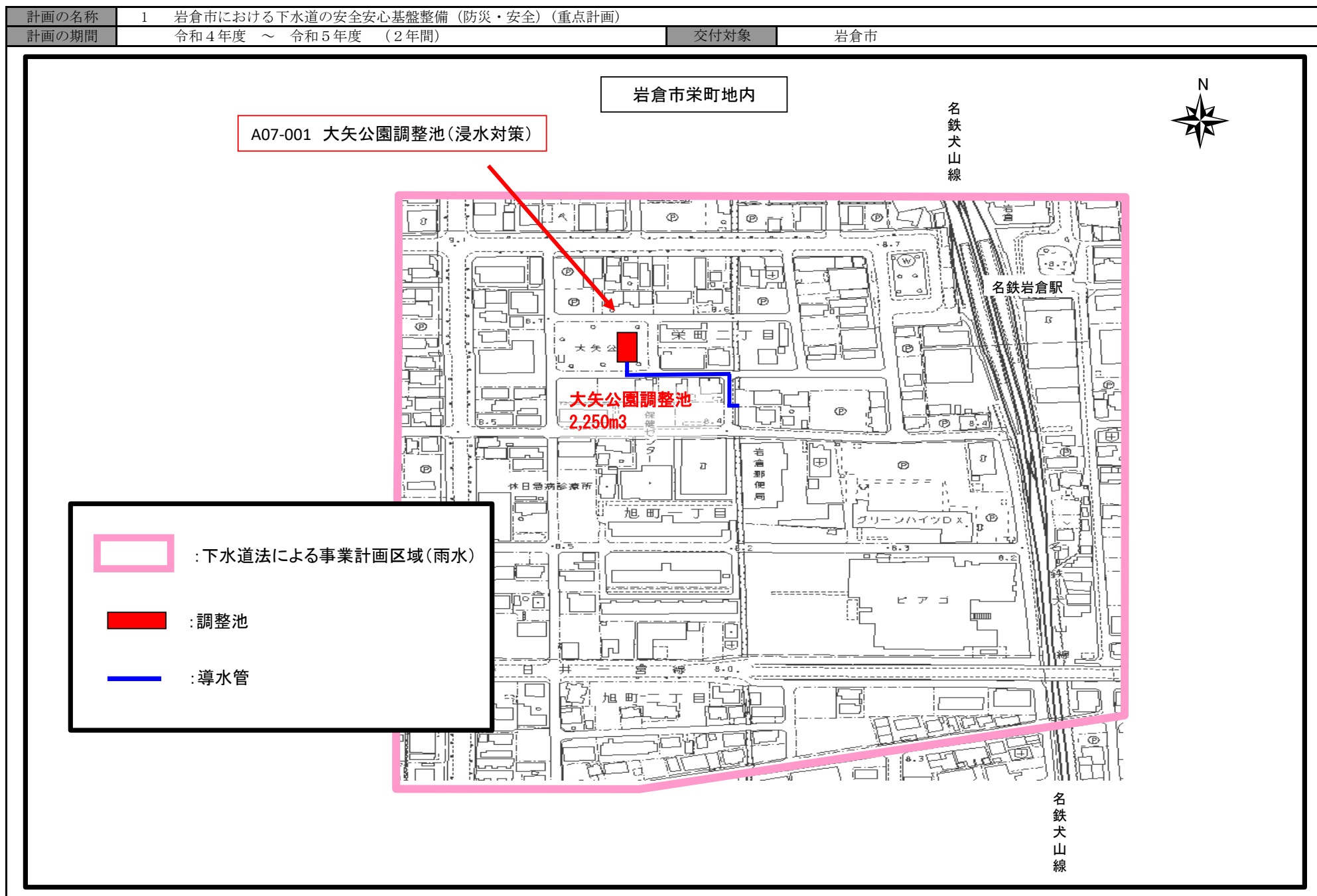
浸水ハザードマップを見直し公表することにより、住民が最新の内水氾濫想定区域及び洪水浸水想定区域を確認することができるようになり、豪雨時の避難意識向上に寄与した。

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も計画的に調整池等の整備を進めて浸水対策を図っていく。また雨水抑制流出施設については、周知の方法を検討し、申請件数の増加を図っていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策整備進捗率		
	最 終 目標値	34%	目標値と実績値の差は無し。
	最 終 実績値	34%	

(参考図面1) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考図面2) 参考図面 (防災・安全交付金)

